

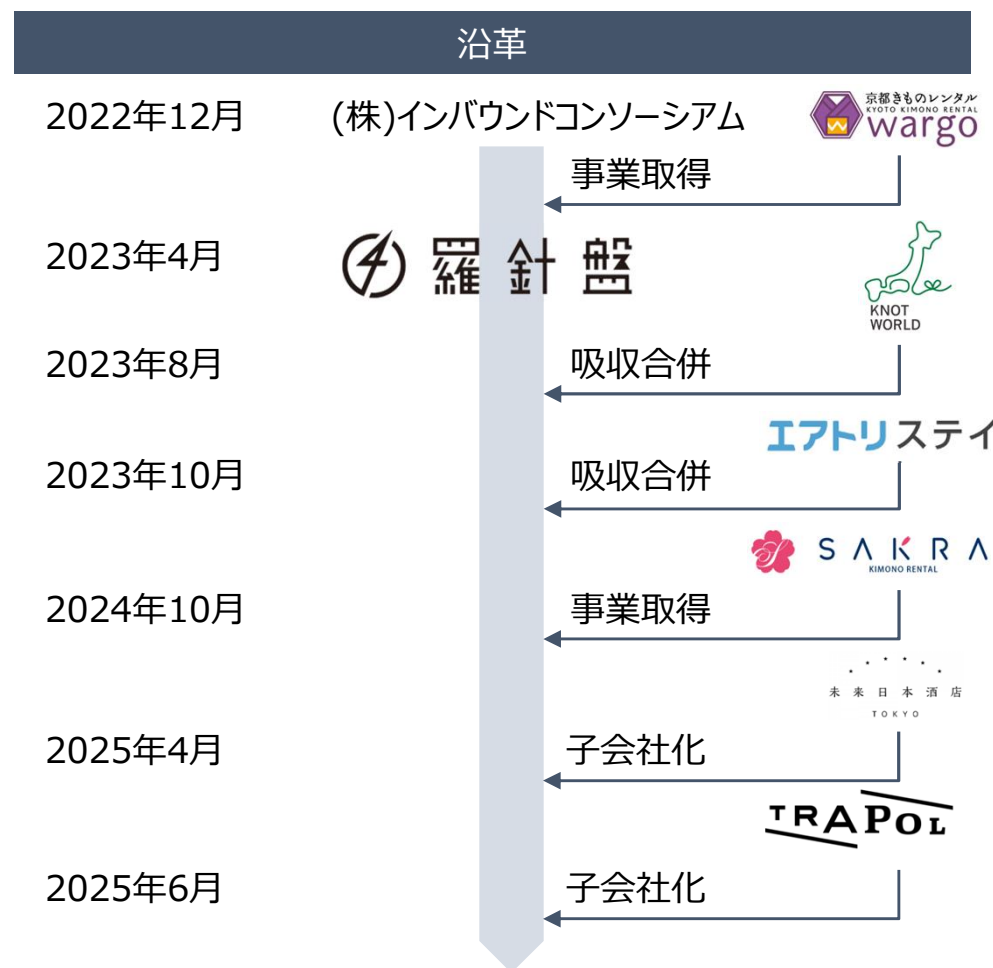
資料9

2030年目標
(インバウンド6,000万人、消費15兆円)
達成に向けたご提言

2025年7月25日
株式会社羅針盤
代表取締役 佐々木文人

「旅の目的地を創出し、日本の観光をリードする」存在を目指し、宿泊・トラベル・着物レンタル・地域プロデュース等、観光・インバウンド領域で多様なサービスを展開。M&A等も活用しながら、ミッション・ビジョンの実現を目指す

概要	
社名	株式会社羅針盤 (英語名: Compass Corp.)
本社住所	東京都中央区銀座七丁目16番21号 銀座木挽ビル3階
設立	2022年12月
代表者	代表取締役: 佐々木 文人
従業員数	連結約250名 (アルバイト約160名を含む)
ミッション	「日本の魅力で、世界を豊かに」
ビジョン	「旅の目的地を創出し、日本の観光をリードする」
バリュー	- スピード最優先 - 挑戦を楽しむ - 尊重と信頼
主要事業	- 宿泊管理事業 - トラベル事業 (旅行業第2種登録) - 着物レンタル事業 - 地域プロデュース事業
主要株主	ミダスキャピタル、 オリエンタルランド・イノベーションズ



保険会社・コンサルティング会社・世界一周旅行を経て、観光領域で11年前に起業。いくつかの視点で感じていることを本日はお伝えさせていただきたい

個人略歴

- 1983年 愛媛県松山市生まれ、その後神奈川県横浜市に
 - 2005年 東京大学経済学部卒業
損害保険ジャパン、
ボストン・コンサルティング・グループにて勤務
 - 2012年 世界一周旅行に
 - 1年間36か国・地域を周遊
 - 2014年 株式会社ノットワールド創業
 - 2015年築地食べ歩き、砂町銀座商店街ツアー開始
 - 2020年ガイドコミュニティJapanWonderGuide立上げ
 - 2023年 株式会社羅針盤 代表取締役役に就任
 - 2025年一般社団法人ガイドの力で日本の観光を盛り上げるプロジェクト発足
 - 2025年Tabinaka Summit2025の企画・実施
- 総合旅行業務取扱管理者、全国通訳案内士、
観光庁「地方部における観光コンテンツの充実のためのローカルガイド人材の持続的な確保・育成に向けた有識者会議」委員
観光庁「令和7年度地域周遊・長期滞在促進のための専門家派遣事業」登録専門家

本日の提言における自身の立場

①旅行者

- どのような目的地に惹かれ、実際に行くのかに関する旅人・旅行者としての目線
ーバックパッカーから、ビジネスクラスまで
ー国内(46都道府県)/海外(40か国以上)

②事業者

- 宿泊・旅行・飲食等、観光領域で多事業を展開する中で経営者として可能性・課題を現場で感じている目線
- 通訳案内士・ガイドとしてプレイヤーの目線

③支援者 (コンサル)

- 地域を支援する中で様々な可能性・課題ともどかしさを感じている支援側の目線

④業界関係者

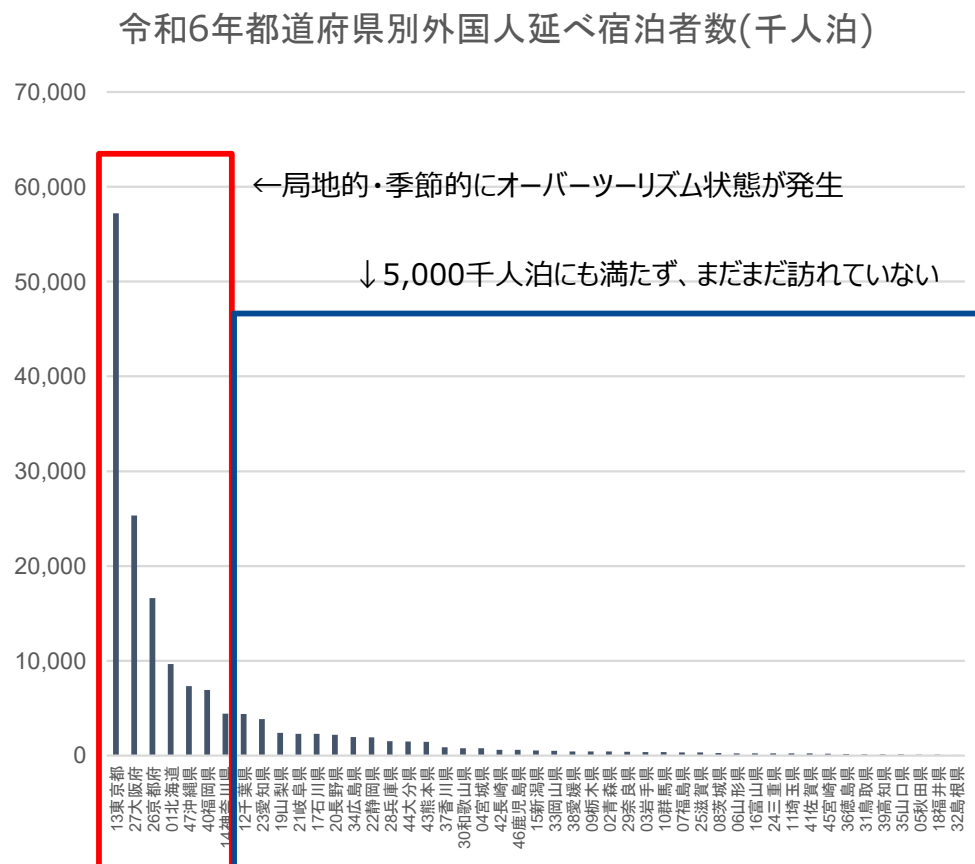
- ガイドを中心に、ツアー・体験事業者の今後の活性化に向けて取り組んでいる目線
ー3800名超が参加するガイドコミュニティ
ータビナカ事業者とのネットワーク

⑤1日本住民

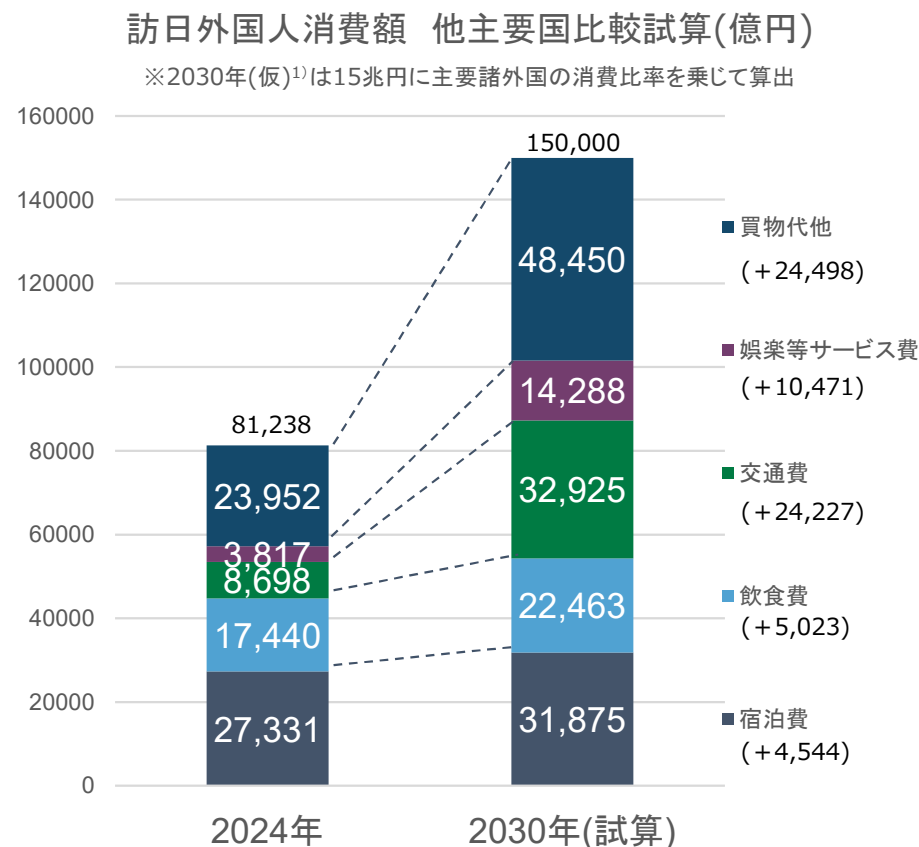
- 「住んでよし、訪れてよし」は観光においてとても大事だと感じている、1日本国民としての目線

2030年目標6,000万人消費15兆円に向けては、「地方誘客」と「キャッシュポイントの拡充」が大きな課題である

地方部には伸びしろしかない



交通・娯楽等サービス・買物等での伸びしろが見込めそう



1. 「楽しい国 日本」の実現に向けた観光資源活性化に関する検討会議資料記載の4か国、アメリカ(2015)、カナダ(2016)、フランス(2015)、オーストラリア(2015)の割合の単純平均値に目標の15兆円を乗じて算出

出典：観光庁「宿泊旅行統計調査」「インバウンド消費動向調査」「楽しい国 日本」の実現に向けた観光資源活性化に関する検討会議 資料」

情報発信は加速化している印象はあるが、「目的地となる観光コンテンツの磨き上げ」「宿泊施設の充実」「二次交通の改善」等が地方誘客の加速化には必要

地方誘客に向けた取り組みの方向性と課題

- 地域における魅力的なコンテンツの充実
 - ✓ 「目的地」となりうるA級コンテンツの不足
 - ✓ 時期的に競合しやすい桜やタイミングの絞られる祭り以外の一定期間集客が見込める差別化コンテンツの不足
- 宿泊施設の充実
 - ✓ 宿泊施設の選択肢の不十分さ
 - ✓ 宿泊施設の絶対数の不足
(ゲストが少ないため、投資も少なく、働き手も不足)
- 二次交通をはじめとする交通網の拡充
 - ✓ 車移動を前提とした各地域における交通網
 - ✓ 地域に足を運ぶアクセスが十分に伝わっていない可能性
- 各地域の魅力およびアクセスに関する情報の発信
 - ✓ 各地域の魅力発信は行われているが、カスタマージャーニー上うまく届けられていない可能性あり

具体的な打ち手のご提案

- 「目的地」となりうる「A級コンテンツ」への集中的な投資 (A)
 - ✓ 公共財の活用、規制の有効活用・商業化
 - ✓ コンテンツの磨き上げ・プロダクト化、情報発信強化
- 空き家の活用や省人化ホテル・民泊の推進 (B)
 - ✓ モデル地域を選定し地銀と組んだ実証事業等の実施
(宿泊施設は賃貸と比べ与信が得にくい現状があるが、資金の流れを変えることができれば、宿泊施設の増加に繋がる)
- 道路運送法ガイドライン改正を活用した二次交通問題解消の推進 (C)
 - 消費を前提とした交通サービス提供の実証事業
 - 空路の活性化/高速バスの情報等のGoogle mapとの連携
- 多言語人材の育成・地域への派遣
 - ✓ 地域おこし協力隊への語学留学等英語カリキュラムの提供
 - ✓ ALT等の外国人人材の活用推進
- UGC活用に向けた受入側事業者のSNSリテラシーの向上

「キャッシュポイントの拡充」を加速化させるために必要なこと

「稼ぐこと」(＝価値を金銭に変えること)をより意識して、公共財や規制の緩和を活用するとともに、観光関連事業者の発掘・育成がより求められる

キャッシュポイントの拡充に向けた取り組みの方向性と課題

- 公共財の活用・特別体験の拡充
 - ✓ 文化財や国立公園等、まだまだ価値を対価に変えられていない資源は多く存在する
 - ✓ 活用が進んでいるとは言え、より大きな経済効果が見込める
- 交通に係る規制緩和 & 改正の実用推進
 - ✓ 2024年3月に改正された道路運送法のガイドラインもまだ十分に活用されていない
- 「商品化」の推進
 - ✓ 工芸品や盆栽等、価値がありながらも、「お土産」としての購入に繋がっていないケースも多い
 - ✓ 輸出等のルールを事業者が把握できていないケースもある
- 体験・観光事業者の発掘・育成・活性化
 - ✓ 旅行業法・道路運送法等が一定の業界参入のハードルになっている
 - ✓ 観光事業者の育成の仕組みが十分ではない

具体的な打ち手のご提案

- 指定管理のように民間に委託しての商業化の実施 (A)
 - ✓ 公共財等を活用したプログラムの造成・磨き上げ
- 道路運送法ガイドライン改正を活用した二次交通問題解消の推進 (C)
 - ✓ 反対給付のない通訳案内士によるガイドツアーの促進
- 販売を意識した商品開発助成事業
- 主要工芸品・産品等に関する輸出・輸送マニュアル等の整備
- ガイド・観光人材の発掘・育成 (C)
- インキュベーションプログラム・事業家育成プログラムの実施
- 現代の環境に合わせた旅行業法の見直しの実施

栃木県宇都宮市でサウナ型アートインスタレーションを造成し、実際に「目的地」として、旅行者が足を運ぶコンテンツとなっている

基本情報

【概要】

- ・ 場所：栃木県宇都宮市
- ・ 成果物：元気炉、元気炉を活用した広域観光ルートの整備、周遊ガイド育成
- ・ 事業者：TRAPOL合同会社(羅針盤グループ)
- ・ 世界的なアーティスト栗林隆氏を中心として、サウナ型アートインスタレーション「元気炉」を造成（2022年度文部科学大臣賞を受賞）。当該コンテンツを軸に、大谷美術館、大谷石のKANEHON・大谷寺といった集客力のあるコンテンツを広域で結びつける小型モビリティを企画・運営。地元への雇用に繋がる「モビリティガイド」を育成し運営。旅行者の憩いの場として空き家を改装して「東屋」もOPEN。地域全体のまちおこし企画および、コンテンツ造成、Webサイト作成を中心としたプロモーションをワンストップで実施。
- ・ 元気炉は、2024年サウナシュラン特別賞、World Sauna Award「SAUNA37」2025等を受賞。

【背景】

- ・ 一定の集客力を持つコンテンツは存在するものの、それぞれを結びつけるインフラが不足していたほか、周遊ルートを案内できる人材も不足していた。
- ・ そのため、目玉となるコンテンツを造成し、大谷地域を周遊するツアーの企画・プロモーション・人材の育成が急務だった



旅館業法・住宅宿泊事業法に則った宿泊施設の運営を日本全国で推進。 健全な住宅宿泊事業の振興は滞在時間の拡大につながる

羅針盤 宿泊管理事業概要

- 事業概要：
物件を運用したいオーナーに向け、民泊の準備から運用までを一気通貫でサポート
- エリア：北は北海道、南は熊本まで日本全国に展開
- 特徴：
 - ✓ 地域・施設に応じて旅館業法・住宅宿泊事業法を使い分けながら、法律に則った適正な運営
 - ✓ 厳しい審査基準を設けることで、収益が出るクオリティの高い物件を多数運営
 - ✓ 国内大手デベロッパーとの協働によるまとまった部屋数の獲得・運営
 - ✓ 訪日観光客を中心に集客しつつ、集客経路の多様化によりオーナーの収益を最大化

国内大手デベロッパーと共同で、マンション一棟全てを民泊として運用している事例もあり、他の大手企業とも同様の案件を推進中

・ YANAKA SOW:



- ・ 東京都台東区谷中にある集合住宅
- ・ シャーメゾンを活用した和モダンな物件
- ・ 積水ハウス不動産東京株式会社の有人ホテル事業第1号案件



地域における展開事例（上：長崎県・下：福島県）

【和華蘭】長崎文化を体感！長崎情緒あふれる一軒家 | ゆったり過ごせる隠れ家 | 最大8名



A-UN INN | 駐車場あり | 会津若松 | 人気観光地まで車で10分



ガイド文化を日本に根付かせ、活躍を推進するためにガイドコミュニティの運営や ガイドライン改正を活かした取り組みを推進する一般社団法人の設立

ガイドコミュニティ JapanWonderGuide

- 目的：
ガイド文化を日本に根付かせるべく、ガイドの活躍環境を整備し、より多くの人にガイドとして、活躍してもらう
「ガイドを『小学生のなりたい職業ランキング』上位に！」
- 設立：2020年2月
- 特徴：
 - ✓ 日本全国3,800名を超えるガイドと14社の旅行会社・エージェントが参加するガイドコミュニティ
 - ✓ メルマガでの情報提供、60本を超えるE-learningや実地研修で、スキルアップを初心者からベテランまでサポート
 - ✓ 活躍機会の創出とネットワーキングを目的とし、年2-3回の交流会およびウェビナー等での採用・マッチング機会を提供

一般社団法人ガイドの力で日本の観光を盛り上げるプロジェクト

- 目的：
ガイドの力で日本の観光を盛り上げる
(道路運送法のガイドライン改正の活用も見据え、ガイド認定制度の実施を目指す)
- 設立：2025年4月
- 特徴：
 - ✓ インバウンド向けには全国通訳案内士という国家資格がある中で、国内外問わないガイド向けの制度として、ガイド認定制度の企画・運営
 - ✓ 特に、自習が可能な知識よりも、ゲスト・地域満足に重要な「ガイドの人間力を高める」研修プログラムを企画・実施予定



出典：各社HP等

一般社団法人ガイドの力で日本の観光を盛り上げるプロジェクト

その旅を、
さらに深く、
面白く

**AI等が普及しても観光において「人」の重要さは変わらない。
2030年以降の成長を考えると観光人材の育成・定着化は最重要課題と考える**

- 義務教育の見直し
 - ✓ 観光人材育成要素を織り込む
 - ✓ 修学旅行等の見直し
- 高等教育における観光教育の推進・カリキュラムの高度化
 - ✓ マーケティングやファイナンス等の習得
 - ✓ 上位大学における観光学部・学科の設置推進
- 観光業界の収益性改善による労働還元額の向上
 - ✓ 優秀な人材を競争力ある待遇で獲得でき、そして、人材への教育投資も促進されるよう観光業界の収益性改善が必要